

☆☆ 白川・緑川水質保全協議会ニュース ☆☆

No57

H26.8.20

水質事故ではありません
～鉄バクテリアの皮膜です～

発信元

白川・緑川水質保全協議会
事務局 熊本河川国道事務所 河川管理課

先日、加勢川に油が流れているという通報が熊本河川国道事務所に入りました。「水質事故か？」と急いで現場にかけつけてみると、油らしきものが浮いていました。しかし、ギラギラとはしていません。臭いもありません。下記のような鉄バクテリアの皮膜でした。九州地方整備局の資料をお知らせしますので、同じような事例が発生した場合には、参考にしてください。

鉄バクテリアの皮膜とは

土壌中にいる鉄バクテリアという細菌が作り出した鉄の酸化皮膜は、油膜にそっくりです。暖かくなってくると、流れの少ないところで見られることが多いのですが、自然現象であり水質事故ではありません。



鉄バクテリアの皮膜は油膜と間違えやすいため、見分け方を知って、水質事故と間違えて振り回されないようにしましょう

油膜（水質事故）と鉄バクテリアの膜（自然現象）の見分け方

臭ってみて、触ってみて、確かめます。

鉄バクテリアの膜は、

- ①油の臭いがしない。（ただし、植物油も臭いがしない）
- ②膜を指で触ると  膜状のまま。（油膜）
 膜がパリパリとヒビ割れる。（鉄バクテリアの膜）

★水面が遠く、触れない場合は、バケツ等で水を採水し、10秒程棒で水を混ぜたり、容器に移して振ってみる。

- 膜が再浮上  油膜
- 膜が消えた  鉄バクテリアの膜



微生物膜がパリパリと割れた状況

事務局までいろいろな情報をお寄せください。

宛先: mashita-s8910@qsr.mlit.go.jp

問い合わせ : 白川・緑川水質保全協議会 事務局 熊本河川国道事務所 河川管理課
担当 : 河川管理課 益田(ました)(TEL096-382-1136)

白川・緑川水系内の市町村、県機関、消防機関からの情報をお待ちしています。

【記事の詳細については、発信元に問い合わせ下さい】